

新潟県小学校教育研究会 郡市研究レポート 柏崎市刈羽郡

柏崎市刈羽郡も学校研家庭科部会は、小学校19名 中学校11名(技6名 家5名) 特別支援学校5名の35名の部員である。今年度は、県中教研「技術・家庭科」の発表の年であることから、中学校の会員は研究面・運営面で全面的に協力し、小学校の会員は中学校の発表ではあるが、小中連携の視点から研修会に参加することを年度初めに確認した。その他の研修については、会員のニーズに応じて行った。

(小学校部会)

1 活動方針

- 新学習指導要領で示された新しい内容についての研修を行う。[小中のつながりを重視して]
- 実践的・体験的な学習を重視する教科の特性から考え、実習を伴う研修を行い、指導力の向上を図る。

2 研修の概要

(1) 研修会Ⅰ 平成23年11月4日(金) 県中教研「技術・家庭科」発表会

小学校と中学校の内容構成がAからDの同一の枠組みとなり、中学校技術・家庭科の内容と系統性や連続性が重視されていることから、小学校部員の研修の場と位置付けた。

会 場 柏崎市立第三中学校

研究主題「よりよい生活を主体的に創造しようとする生徒の育成」

～学び合う活動を重視して～

家庭分野 「幼児の生活と家族」長谷川久美子教諭

協議会において、幼児の生活にとって家庭が重要であることの見解が多く出された。幼児だけでなく家庭は、生活や成長や心の安定のためには大変重要であることから、小学校の家庭科の学習を進める上で家庭領域が基本となっていることを確認することができた。 [参加者 小学校12名 中学校9名]

(2) 研修会Ⅱ 学習指導要領の改訂で改善された内容についての研修

○ 内容B 日常の食事と調理の基礎

(1) 食事の役割 ア 食事の役割と日常の食事の大切さ

(生活や学習の基盤となる食育の推進のため、食事の役割や栄養を考えた食事のとり方・(略)を一層重視することとしている。)

- 期日 11月29日(火)
- 会場 刈羽村生涯学習センター ラピカ
- 研修テーマ 「見直そう 食事と生活のリズム」
 - 朝食を充実させよう(重要性と役割) ○朝食にあうメニュー
- 講師 刈羽村立刈羽小学校 栄養職員 阿部亜実 先生
- 研修内容1 講義(30分)朝食の重要性と役割
朝ご飯は三つの目覚ましスイッチ 体 頭(脳) お腹
 - ・元気になる朝ご飯 (取り入れたい食品)
 - ・簡単調理の工夫 (便利調理器具 乾物の活用 常備したい食品)
- 研修内容2 実習(60分)
いためる調理方法を活用し、多くの食品を取り入れた、朝食にぴったりのメニュー(給食での人気メニューより)
 - ご飯に合うメニュー「千草焼き」「のり酢あえ」
 - パンに合うメニュー「大豆とひじきのチーズ焼き」「カラフルカレーきんぴら」
- 参加者 小学校9名 中学校3名
- 参加者感想
 - ・いためる ゆでるという小学校家庭科の基礎を使うメニューなので授業で活用したい。
 - ・給食メニューを生かしているところが参考になった。
 - ・器具や材料を工夫すれば、短時間で栄養バランスの整った朝食メニューができることがよく分かって参考になった。

